

おかげさん

95号

真宗大谷派
高德寺通信
2021年夏号



『最初の質問』

(講談社刊)

👉 まずはこちらを
読んでみて
ください。

今日、あなたは空を見上げましたか。

空は遠かたですか、近かたですか。

雲はどんなかたちをしていましたか。

風はどんな匂いがかしましたか。

あなたにとって、いい一日とはどんな一日ですか。

「ありがとう」という言葉を、今日、あなたは口にしましたか。

窓の向う、道の向こうに、何が見えますか。

雨の霽をいっばい溜めたクモの巣を見たことがありますか。

樫の木の下で、榎の木の下で、立ち止まったことがありますか。

街路樹の木の名を知っていますか。

樹木を友人だと考えたことがありますか。

このまゝ、川を見つけたのはいつですか。

砂のうえに坐したのは、草のうえに坐したのはいつでしたか。

「うつくしい」と、あなたがためらわずに言えるものは何ですか。

好きな花を七つ、あげられますか。

あなたにとって「わたしたち」というのは、誰ですか。

夜明け前に啼きかわす鳥の声を聴いたことがありますか。

ゆっくりと暮れてゆく西の空に祈ったことがありますか。

何歳のときのじぶんが好きですか。

上手に歳をとることができるとおもいますか。

世界という言葉で、まずおもいえかく風景はどんな風景ですか。

いまあなたがいる場所で、耳を澄ますと、何が聴こえますか。

沈黙はどんな音がしますか。

じっと目をつぶる。すると、何が見えてきますか。

問いと答えと、いまあなたにとって必要なのはどちらですか。

これだけはしないと、心に決めていることがありますか。

いちばんしたいことは何ですか。

人生の材料は何だとおもいますか。

あなたにとって、あるいはあなたの知らない人びと、あなたを知らない人びとにとって、

幸福って何だとおもいますか。

時代は言葉をないがしろにしている――あなたは言葉を信じていますか。

『最初の質問』

（講談社刊）

おさだ ひろし
長田 弘 さんの

詩（絵本）



◆絵も大変ステキです♪

右ページの詩をお詠みになってどんななお氣持
 持ちを述べられましたか？ 最初の質問に
 しては、ずい分と沢山ありましたね。お一人
 お一人、それぞれきつといろいろなおことを
 思われたでしょうね。ハツとされたたり、衝
 撃を受けられたり……。一つ一つの質問
 にキチッと答えられた方もおられること
 とでしよう。私は初めてこの詩を味
 わった時、暫くボーッとしてしまいました。
 そして時間が経つにつれ、何々胸の奥
 がザワザワ、もやもやして来ましたが、
 決して難しい質問ではないのだけれど、
 すぐに答えるが出来てこないような質問が
 ほとんどでした。最初は、普段の習慣
 で、これは答えられる、これは答えられ
 ないなあ……と、二項対立の思考で味わ
 っておりますが、次第に、慌ただしく過ぎ
 ていく毎日の中で、私は大切なものを見
 失っているのではないだろうか？ という
 マークが浮かんでくるようになって来

ました。やはり昔の映画ですが、黒澤明監督
 の『生きる』(1952年)のナレーションの一節にこんな言
 葉があります。「忙しい。全く忙しい。しかしこの男
 は本当は何もしていない。この椅子を守る事以外は
 ……」本当は何もしていない……。これも何か自分の中に
 残る言葉です。そしてこの最初の質問は、私にとそ
 されたくない質問ばかりです。この質問は、日常の
 中にある自然や動植物の美しさに気がつかない
 ている自分に、静かに問いかけてくるような……。
 そしていつも答えを探し、答えが見つかると握り締
 めて離さない……。そんな私に向けて、座り込んで問
 うことをやめてしまつてはいないかい？ 何でも分か
 ったことにしてはいないかい？ そんな問いかけをいた
 だいているような気がしております。そして、最後の
 一行……。ここにはじめて作者の主張が表れているの
 ではないでしょうか。言ってみれば最後の質問ですね。
 「あなたは言葉を信じていますか？ これは詩を愛
 する人の言葉です。私法もお念仏も真実が言
 葉となり、はたらきとなって私たちに呼びかけて
 来ます。言葉だけでなく日々の生活の中においてあ
 らゆるものごとが、私への質問なのかもしれません。
 そのことに丁寧に眼を聞き、耳を澄ませて、常に
 問いを持ち続けながら、じっくりと歩んで行きた
 い。この詩を読んでそのようにいただきました。

釋義 祐

釋了吾の 八女日記



皆さんお久しぶりです。前回八女日記を書いてから、半年以上が経ちました。八女の現状を少し振り返ってみます。皆さんの最近の関心事は、コロナウイルスのワクチン接種だと思われれます。福岡県では大規模接種会場などが整備され、八女市でも6月18日現在で高齢者の七割程度が予約を完了し、続々と接種をされています。これだけの態勢を田舎で整えるのは本当に大変です。お参り先で関係者の方にお話を聞く機会があったのですが、人も足りず創意工夫を凝らして対応しているものの、まだまだ時間がかかるとのことでした。私の番に回ってくるまであといかなほどでしょうか…。ニュースを見ていると、中野区が64歳以下の人に接種券を郵送しているとありました。中野…

いいなと思いました。(笑) お坊さんは時に、沢山の方々と触れ合うことがあるので早く接種をしてお参りに行きたいものです。さて、近況をお話したいと思います。九州は早い梅雨で、5月の半ばから梅雨入りをしてしまいました。しかし、最近まで晴れ間が少くあり、大変蒸し暑く、「梅雨」という名の「ツブツブ夏」状態が続いていました。久留米市は八女市から車で30分ほどの近隣市ですが、この間も気温が35度を超え、全国ニュースになったのを記憶しております。変な梅雨です。関東地方は最近梅雨入りと聞きました。が、いかなお過ぎでしょうか？ コロナ下でも、大事なご法事やお葬式は感染対策をしながらお勤めしておりますが、最近では比較のお仕事が少ないです。何故だと思いませんか？ それは農業と関わりがあると感じています。というのも、八女市は農業が主要産業です。前号でも申しましたが、特にお茶が有名です。大体が4、5月にお茶摘みがあります。その時期ご門徒さん達はお茶摘みに忙しいので、ご法事を頼まれません。また、6月も半ばの今は

田植之シズン真々盛りです。山手の方から水を入れていき、私の住んでいるアパートの近くにも昨日水が張られました。実を言うると、私のアパートの周りは田んぼに囲まれておりまして、昨晩は水を喜ぶカエル達の大会場でなかなか寝つけませんでした。(笑) そんな今日も他の田んぼでは、トラクターに乗ったおじちゃんか田を耕し、水を引き入れております。そういう訳で、今の時期私のお仕事は少ないです。もう少しすると多くなります。(笑) そのように、季節と自然によって人間の仕事や行動が変わっていく……東京にいた頃は考えもしなかったことでした。至極当たり前のことかもしれませんが、都会にはない季節の情緒を感じます。八女に住んで1年2ヶ月ですが、この情緒を大切にしていきたいと思えます。では仕事がない時は何をしているのか? ……という疑問がある方もおられると思います。掃除や諸々のお手伝いもさせて頂いておりますが、最近はある先生のテープ起こしをして

おります。^{みやぎ}宮城 頴(京都生まれ、2008年11月命終) という先生で、もうお浄土に還^{かえ}ってあられますが、その先生の20年前の講義音源を耳で聞き、パソコンで打ち込む仕事をしております。打ち込んだものが製本され、仏教書として皆様のお手元に届くということですが、私が6歳の時の講義録ですから不思議なご縁ですが、今は毎日音声を聞いておるので、まるでお会いしたことがあるような感覚になります。音声というものは、その人の存在を乗せて届けるものなんだなと、感じるところです。最近、お参り先のあるおばあちゃんか、亡くなった主人の写真は毎日見るから顔は思い出すけれど、声はすっかり忘れてしまった……と嘆いておられます。とても印象に残っています。別離の縁がいつあるかわからないこの世で、大切な方の何気ない日常の「声」を記録しておくことも大切だと感じました。私も久しく家族と会えていませんが、動画をSNSで送ってくれたり、電話をかけてくれたりするので助かっております。(笑) 飼猫には、顔も声も忘れられておるようですが、

つづく……

盂蘭盆会(お盆)について

う ら ぼん え

- ◆ 7月13日(火)～16日(金)がお盆の期間となります。(地方によっては8月の同時期)コロナ下においては、7月・8月を問わず(お盆期間以外でも)新盆のご法要、お盆(本堂、お墓の前、その他)のお勤めをお受けしております。ご依頼、ご相談、お問い合わせは 住職へご連絡ください。
- ◆ 年回(一周忌・三回忌・七回忌等)のご法事もお勤めいたしております。ご希望の日時(オ1・オ2希望をお考之にのって)と、ご参詣の人数が決まりましたら、寺へご連絡ください。日程調整させていただきます。
- ※ 新型コロナウイルス感染防止対策(消毒・換気・ソーシャルディスタンス等)に努めて参ります!

『寺子屋の時間』

今後の予定

7/24(土) 8/28(土) 10/2(土) 11/13(土) 12/25(土)

- ・どの回も 14時～16時半まで。
- ・参加費 500円/お一人様

※ 感染状況により、中止となる場合があります。
高德寺のHPでお伝えしております。

※当初の予定は、12/18(土)でしたが都合により、12/25(土)に変更させて頂きます。

〔お墓のこと、これから先のこと等、ご相談やお問い合わせは随時受け付けております。〕

Omigaki 御礼

2021年3月14日(日)

新井 和子さん
石井 玉枝さん
清水 和美さん
菅原 悟さん
菅原 穂子さん

塚田 和子さん
仁野平 延芳さん
水越 拓路さん
水越 和子さん
柳澤 佐智子さん
山本 洋祐さん

いつも仏具をピカピカ
にして頂きまして、厚く
御礼申し上げます。

(あいのお順村)

いつも応援し頂き
まして、有り難うございます。

2021年7月4日(日)

新井 和子さん	塚田 和子さん
石井 玉枝さん	仁野平 延芳さん
見玉 金之助さん	水越 拓路さん
清水 和美さん	柳澤 佐智子さん
菅原 悟さん	山本 洋祐さん
菅原 穂子さん	有るに難しの おかげさんです!

カンパ御礼

岩崎 英之さん
江守 敏雄さん
大槻 宏子さん
金山 徳喜さん
神野 くららさん
鈴木 新一さん



彼此一年余り、左の二の腕あたり

(肩から肘までの間、部分)に違和感
があり着物の帯をつける時に手
を後方へまわすと痛みが走る。

自分で腕を回したり、揉んで
みたりしてきたが、増が明か
ないので、近所で腕の良い治療

院はひいものかと、朝の食卓
で聞いてみた。すると坊主が
通っている寺の並びの評判の
良い治療院を紹介してくれ

た。そこは、老若男女にマス
リート、国内外からも電車
や飛行機で患者さんが来るとい

う。へえ〜と嬉しい予約を入れて
行ってみると、この道45年の氣さく
な先生が迎えてくれた。診断の結果、

五十肩ではなく、肩まわり。筋肉や筋が機能し
ていないことが分かった。治療して頂いてから2日
が経つが痛みが和らぎ、少しだが腕が回るようになった

てきた。寺から徒歩2分のところにこんな名医がいらした
なんて、ソ、全身おおむね診察してもらえそうだが、特に
腰痛・狭窄症・ヘルニアが専門だぞうだ。別に回し者でも

何でもないが、お悩みの方は診てもらって損はないと思う。
ちなみに、先生の苗字(音)は私と同じ「あらい」である……。



釋義祐

発行日
発行集
編

2021. 7. 13

真宗大谷派 高德寺

任職 新井義雄
(法名 釋義祐)

03-3368-6947 FAX 03-3362-8019

okagesan95

《表紙の絵》

「アンスリウム」

赤い襟のような仏炎苞を
持った変わった花を咲か
せる観葉植物。